

フェスティバルとコンベンションの街 オースティン

訪問日時 2026年1月11日、12日

「音楽の街」として知られるテキサス州の州都オースティンは、空港のターンテーブルで早速、カラフルなギターが訪れる人を歓迎してくれる。



1. サウス・バイ・サウスウエスト (SXSW)

この街の有名な「サウス・バイ・サウスウエスト(SXSW)」は1987年からはじまった音楽や映画などの複合イベントである。

開始当初は音楽祭であったが、1994年に映画部門、1998年にインタラクティブ部門(マルチメディア)が加わった。インタラクティブ部門に展示スペースや商談スペースが設けられるようになり、近年は「コンバージェンス(融合)カンファレンス & フェスティバル」という呼び方がされている。

マルチメディアから始まった展示部門は、次第にデジタルテクノロジーなどに分野が広がり、最近では様々な技術を持つ世界中のスタートアップ企業が集まる場としても注目されている。

技術を持つ世界中のスタートアップ企業が集まる場としても注目されている。



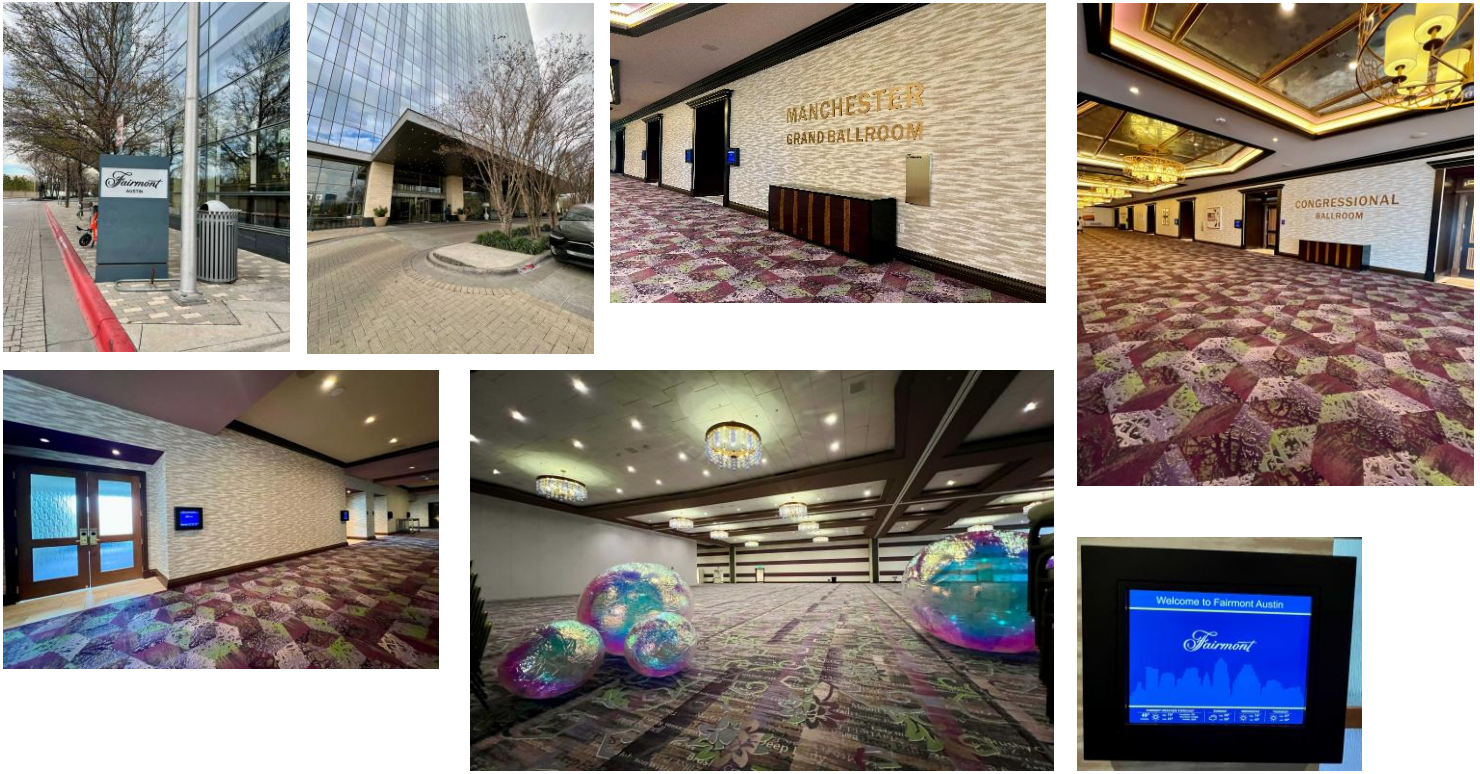
オレンジの四角部分がコンベンションセンター、周囲を丸く囲んだ部分は、マリオット、ヒルトンなどのホテル

2026年のサウス・バイ・サウスウエストは、3月12-18日に開催される。期間中、市内の様々な施設が使われているが、展示会の中心になるのは、「オースティンコンベンションセンター」である。オースティンのダウンタウンにあり、周囲に

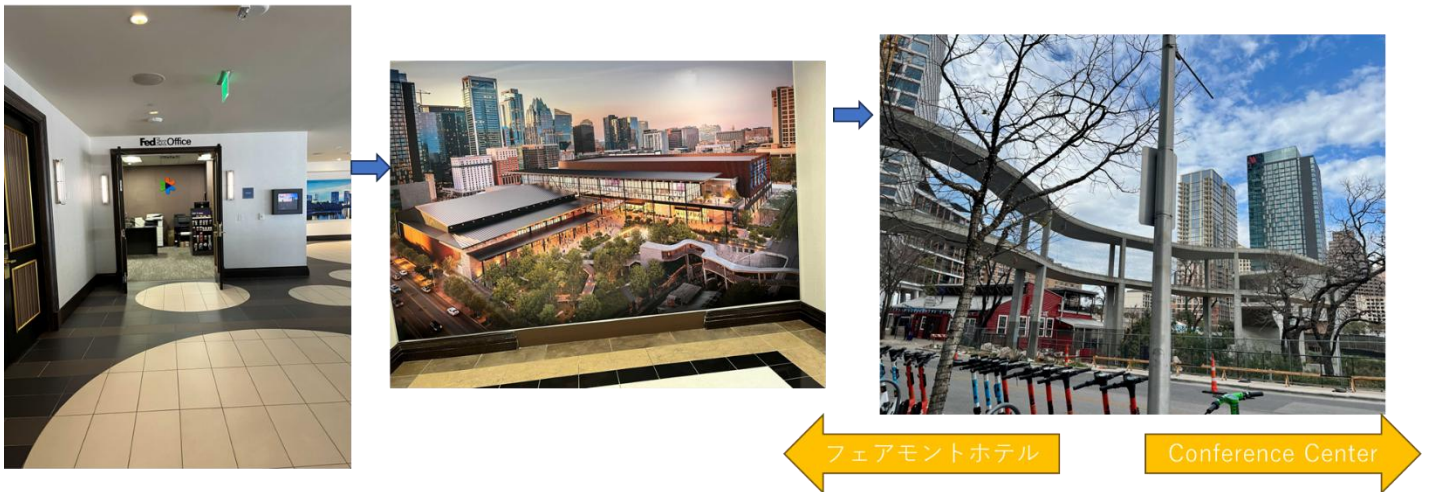
様々なホテルがある非常に便利な立地であるが、2029年までは建て替えのために閉鎖されている。コンベンションセンター完成までは、サウス・バイ・サウスウエストの展示部分は、マリオットホテル、フェアモントホテル、コロラド川南側にある「パルマーイベントセンター」などが担っている。

様々なホテルがある非常に便利な立地であるが、2029年までは建て替えのために閉鎖されている。コンベンションセンター完成までは、サウス・バイ・サウスウエストの展示部分は、マリオットホテル、フェアモントホテル、コロラド川南側にある「パルマーイベントセンター」などが担っている。





ホテル2階から、直接Conference Centerに行ける歩道橋を建設中。
歩道橋につながる部分のホテル内壁一面に完成予想図(↓)



オースティンコンベンションセンターの展示スペースは、従来 365,000(34,000 m²)平方フィートであったところ、完成時は 620,000(57,600 m²)平方フィートに広がる。

今年の SXSW の中心会場になるフェアモントホテルには、2000 m²を超える 4つの会議場（展示場）を含め、66の会議室が用意されている。完成時はホテルから直接コンベンションセンターに行くことができる歩道橋も設置されるようで非常に便利な立地である。

2. 音楽の街、フードトラックの街

オースティンは SXSW が生まれるきっかけであった音楽が、街のあちこちで楽しめる。「街そのものがライブ会場」ともいわれ、市内には 200-250 のライブ会場があるといわれている。SXSW には 100 以上のライブプログラムがあるそうだ。

また、ライブ会場と相性がいいためか、カラフルなフードトラックが多くみられるのもオースティンの特徴の一つであり、街歩きを楽しめるものになっている。フードトラックは市内に 1000 台前後あるとみられるが、小規模なビジネスから始めるスタートアップ・起業の精神にも通じているように思われる。



3. 技術と文化、芸術

オースティンに集まる人の関心は音楽関連にはじまり、そのデジタル技術から IT 関連、AI 技術 それらのスタートアップと広がってきた。様々な芸術、文化、AI に加え、エレクトロニクス、クリーンエネルギー技術などの分野に携わる人にとっても注視する必要のある街であるといえる。

(記 齊藤洋子)

M.I.Office は、国際会議・展示会・イベントの企画運営を通じて、国内外のビジネス交流と価値創出を支援しています。活動レポートでは、スタッフが現場や訪問先で得た気づきやトレンドをご紹介します。